

ネイティブキュウリ科植物 L-アスコルビン酸オキシダーゼ

Cat. No. DIA-124

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、L-アスコルビン酸オキシダーゼ (EC 1.10.3.3) は、化学反応 $2 \text{ L-アスコルビン酸} + \text{O}_2 \leftrightarrow 2 \text{ デヒドロアスコルビン酸} + 2 \text{ H}_2\text{O}$ を触媒する酵素です。したがって、この酵素の二つの基質はL-アスコルビン酸とO₂であり、その二つの生成物はデヒドロアスコルビン酸とH₂Oです。

用途 この酵素は、アスコルビン酸の酵素的測定に役立ち、臨床分析におけるアスコルビン酸の干渉を排除するために有用です。

別名 アスコルベース; アスコルビン酸オキシダーゼ; アスコルベートオキシダーゼ; アスコルビンオキシダーゼ; アスコルベート脱水素酵素; L-アスコルビン酸オキシダーゼ; AAO; L-アスコルベート: O₂ オキシリダクターゼ; AAオキシダーゼ; EC 1.10.3.3; 9029-44-1; L-アスコルベートオキシダーゼ

製品情報

由来 ウリ科の植物 (Cucurbita sp.)

外形 淡い青色の非晶質粉末、凍結乾燥された

形態 淡い青色の凍結乾燥粉末。

EC番号 EC 1.10.3.3

CAS登録番号 9029-44-1

活性 40U/mg

混入物 カタラーゼ < $1.0 \times 10^{-1} \%$ ホスファターゼ < $2.0 \times 10^{-2} \%$

pH安定性 pH 6.0-10.0 (25°C, 20時間)

最適pH 6

熱安定性 45°C未満 (pH 7.0、30分)

ミカエリス定数 $3.0 \times 10^{-4} \text{ M}$ (アスコルビン酸塩)

特異性 酵素はアスコルビン酸およびいくつかのアスコルビン酸誘導体を酸化します。

阻害剤 シアン化物、Na₂S、ジエチルジチオカルバメート (Na)

単位定義 1ユニットは、以下に記載された条件下で、1分あたり1マイクロモルのアスコルビン酸の減少を引き起こします。

保管・発送情報

保存方法 密閉容器に入れ、乾燥させ、光から保護し、-20°Cで保存してください。

安定性 -20°Cで少なくとも1年間安定しています